

美しい森林づくりのモデル的な取組

名 称： 低コスト路網を活用したカラマツ間伐モデル林
場 所： 吾妻森林管理署 須原国有林 177ち1林小班 孺恋村
面 積： 88.28ha 樹 種：カラマツ
林 齢： 51年 機能類型区分：水源かん養タイプ

森林現況：育成複層林

- 目標とする森林： 下層植生、多様な樹種が発達した諸被害に強い森林
- 誘 導 手 法： 長伐期施業（当面は、路網の整備と適期の間伐を計画的に実施）
- 作 業 経 過： 間伐（列状） 作業時期1987年 伐採率25%
間伐（定性） 作業時期2008年 伐採率32%
- 施 業 効 果 間伐により林内の光環境が向上し、下層植生が発達するとともに
適正な生長量の確保が図られている

前



撮影：2008年 7月

【連絡先】吾妻 森林管理署 0279-75-3344

記載年月：2008年7 月

森林管理局 <http://www.kanto.kokuyurin.go.jp>

林野庁 <http://www.rinya.maff.go.jp>